

SABO NEWS LETTER

第 140 号【発行日】令和 2 年 10 月 7 日(水)【発行】(一社) 全国治水砂防協会

目 次

- | | | |
|----|------------------------------|---|
| 1. | 目 次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| 2. | 国土交通省砂防部長よりご挨拶・・・・・・・・ | 2 |
| 3. | (一社)全国治水砂防協会理事長よりご挨拶・・・・・・・・ | 3 |
| 4. | 国土交通省提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省砂防部長よりご挨拶

「砂防関係事業の概算要求について」

猛暑となった今夏も終わり、秋風が心地よい季節となりました。

台風第10号による豪雨に伴い、宮崎県椎葉村では土砂災害による犠牲者が発生しました。心よりお見舞い申し上げますとともに、安否不明者が早期に発見されることを祈るばかりです。被害を受けられた方々が地元建設業関係者で、台風通過後の出勤も考えておられたのではとの情報に、心が痛みます。

引き続き台風に備えなければならない時期が続きます。地域の皆様のいのちが大切です。国土交通省からも注意喚起しますので避難行動を促していただきたいと思います。

毎年8月末が次年度概算要求提出時期ですが、今年はコロナ禍の影響で1か月うしろ倒しとなりました。先週提出した概算要求では、砂防部としては近年の土砂災害の激甚化・頻発化を踏まえ、施策方針として「土砂災害対策により地域社会のいのちとくらしを守る」を掲げました。

- ① 地域住民の「いのち」と社会・経済活動を支える地域の基礎的なインフラを集中的に保全する
 - ② 自助・共助を強力に支援するため、地域の防災力を高める警戒避難体制を強化する
 - ③ 砂防堰堤の除石と施設改良によって効果の量増大や流木捕捉機能の強化を図る
- これら3つの柱により、制度・予算要求を行います。

地域の皆様からの提言や要望に応えられるよう制度や施策として整理し、個別補助金の制度拡充や、警戒避難等ソフト対策の交付金創設をはじめ、事業推進のための体制確保など、年末の予算編成に向けて取り組んで参ります。

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の予算で、集中的に事業を推進して参りました。その結果、土砂・洪水氾濫対策や、土砂災害からのインフラ・ライフラインの保全対策として、国及び都道府県で720箇所余りの事業を完了することができそうです。既にこの予算等によって整備された施設が、昨年のも東日本台風や、今年の梅雨前線豪雨で土砂災害を防止するなど着実にその効果を発揮しています。

これまでお会いできた、もしくは、Web 会議などの場において意見交換させて頂いた会員の皆様からも、この3か年だけで対策を終わらせることのないようにとの意見を頂戴しているところです。砂防関係事業において早急に実施すべき事前防災対策を予算編成過程で整理検討していくこととしており、砂防部一丸となって全力で予算確保に向けて頑張ってお参ります。

全国治水砂防協会の促進大会は、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じたうえで実施されると聞いています。このような場や各支部等の活動をはじめ、今後とも地域の声をお聞かせいただくとともに、引き続きご指導・ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

国土交通省 砂防部長 今井一之

(一社)全国治水砂防協会理事長よりご挨拶

会員の皆様へ

神無月を迎え、東京では金木犀の香りが漂い始めました。猛暑の夏も過ぎ去り、秋の気配が感じられます。暑かった9月には台風第10号が襲来し、また多くの被害が生じることとなりました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りすると共に、被害を受けた皆様にお見舞いを申し上げます。

今年の概算要求は1か月遅れとなり、予算編成は短期間で実施されることとなります。今回も砂防部長よりご寄稿をいただき、概算要求での砂防部施策方針として「土砂災害対策により地域社会のいのちとくらしを守る」を紹介いただいております。関連資料も合わせてご覧くださいませ。これらの施策はまさに時宜にかなったものであり、施策の遂行を強力に推進していかねばなりません。

このような状況から、11月19日に「全国治水砂防促進大会」を予定通り実施いたしたいと考えております。コロナ禍のもと、安全な地域から東京へお運びいただくのは申し訳なく、心苦しいのですが、感染防止の観点から規模を縮小し、時間も短縮しての開催とさせていただきます。ソーシャルディスタンスの確保、消毒、換気等感染防止には細心の注意を払ってまいる所存です。災害多発のこのような時なればこそ、しっかりと効率的・効果的に要望活動等を実施しなければなりません。皆様方のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。是非とも大会にご参加くださいませ。

また、国会議員をはじめ国土交通省等の来賓の方々は例年通りお招きする予定であることを申し添えさせていただきます。開催案内はまもなく発出させていただきます。

時節柄、どうかご自愛くださいますように。

令和2年10月7日

一般社団法人全国治水砂防協会
理事長 大野 宏之

土砂災害対策により地域社会の「いのち」と「暮らし」を守る

- 近年、気候変動の影響により土砂災害の激甚化、頻発化する傾向にあり、住民の「いのち」が危険にさらされるだけでなく、地域の社会・経済活動など「暮らし」に与える影響が深刻化
- 気候変動による土砂災害の激甚化などにも適応しつつ、「いのち」はもちろん地域住民の「暮らし」も守る土砂災害対策を推進するとともに、地域主体の自助、共助を積極的に支援することで、社会全体の強靱化を図る

いのちを
まもる暮らしも
まもる

1. 社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

- ✓ ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「暮らし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

みんなで
まもる

2. 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ✓ リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上

工夫して
まもる

3. 既存施設の高機能化、多機能化による整備の加速化

- ✓ 既存施設の長寿命化を進めるとともに、堰堤の除石、流木対策施設の設置、かさ上げなど高機能化、多機能化を図ることで、より効率的、効果的な整備を推進

社会・経済活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

- ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「暮らし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全



7月7日の被災から8月上旬に仮設浄水場が設置されるまで約42万人・日に影響



JR坂駅～広駅間の不通により約173万人・日に影響
国道31号の通行止めにより約12万台・日に影響

いのちと暮らしを守る土砂災害対策

いのちを
まもる暮らしも
まもる

3か年緊急対策後も引き続き保全対策を推進するとともに、特に住民の生活や経済を支える集落の基幹的機能（学校、病院、役所など）が集積する集落拠点及びこれらをネットワークする道路や電力網など「暮らし」に直結するインフラを集中的に保全

地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

○ リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上

■ 土砂災害警戒区域等の抽出精度向上



基礎調査に高精度な地形データを用いることで、警戒区域の精度を向上

■ 土砂災害警戒区域の現地表示の促進



みんなで
まもる

普段の生活の中で人目に付く箇所に標識を設置することで、土砂災害に対する認知度を向上

■ 土砂災害ハザードマップ等の作成支援

ハザードマップの作成、地区防災計画の策定、避難確保計画の策定など自助、共助につながる取組を強力に支援

既存施設の高機能化、多機能化による整備の加速化

○ 既存施設の長寿命化を進めるとともに、堰堤の除石、流木対策施設の設置、かさ上げなど高機能化、多機能化を図ることで、より効率的、効果的な整備を推進

■ 除石による堰堤の機能回復

効果的な除石による砂防堰堤の機能回復を図ることで、流域の安全度を確保



■ 流木捕捉工の追加設置



既設砂防堰堤に流木捕捉工を追加設置することで、堰堤を多機能化

工夫して
まもる

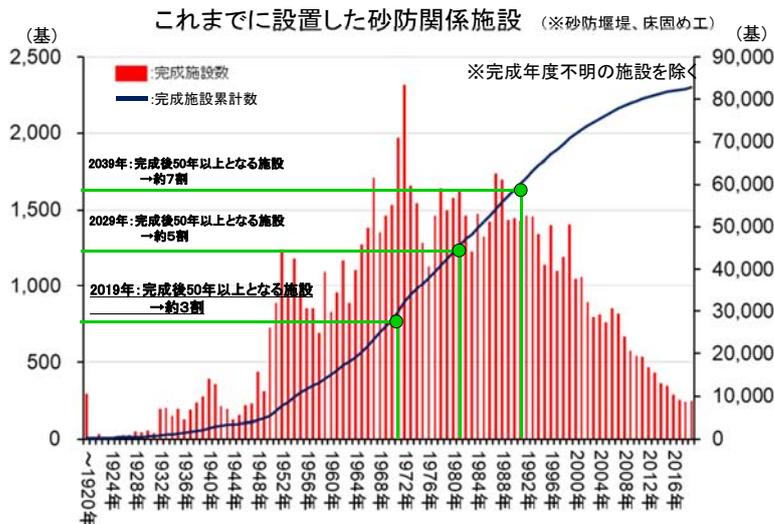
■ 地すべり対策施設の機能再生による予防保全

地下水の排水状況等をモニタリングしつつ、洗浄や追加ボーリングを行うなど、より効率的な予防保全を推進



砂防関係施設の長寿命化と予防保全型維持管理

- 砂防関係施設の多くが完成から50年以上経過しており、老朽化が進行
- 個別施設ごとの長寿命化計画に基づき、特に重要度が高い箇所から計画的に老朽化対策を推進
- 対策にあたっては耐久性の高い新素材を用いるなど、将来の維持管理コストの低減に資する取組を実施



砂防堰堤の天端摩耗により機能低下

現場発生した転石を利用



耐久性の高い新素材を採用することでライフサイクルコストの低減を図る



流水の集中による摩耗・損傷

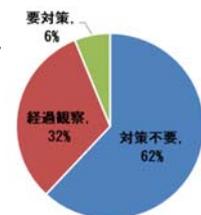


水通し部に弾性板を被覆

砂防えん堤



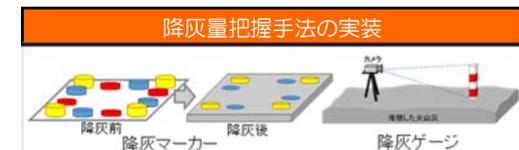
床固め工



火山地域における土砂災害対策

- 平成30年1月の草津白根山の噴火等を踏まえ、火山地域において、予防的対策として砂防堰堤や遊砂地等を整備するとともに、火山噴火に対し迅速かつ的確な緊急対策を実施するための火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定、緊急対策用資材の製作・配備、火山噴火に伴う土砂災害に関するリアルタイムハザードマップの提供体制の構築、監視設備及び噴火時の緊急対応能力の強化等を推進

火山地域における土砂災害対策のイメージ



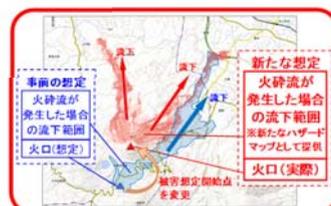
監視設備の強化

必要な監視カメラを設置するとともに、電源及び通信ルートの多重化により、監視設備の強化を図る。

砂防堰堤等の整備

緊急対策用資材の製作・配備

リアルタイムハザードマップの提供体制の構築



新たなハザードマップが有効な例

流域治水の考え方及び治山対策と砂防事業の連携

河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となつて行う治水対策に加え、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その流域の関係者全員が協働して、①氾濫をできるだけ防ぐ対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策、を総合的かつ多層的に取り組む。

- ①【氾濫をできるだけ防ぐための対策】
- ②【被害対象を減少させるための対策】
- ③【被害の軽減・早期復旧・復興のための対策】



森林保全等の治山対策と砂防の連携

連携のイメージ

【治山】上流域の荒廃森林を整備し、流木の発生源対策を実施

【砂防】下流域（保全対象直上）に砂防堰堤などを整備し、土砂や流木の流出による直接的な被害を防止



砂防事業による整備



治山事業による整備

砂防部と林野庁関係課による連携調整会議を開催し（9/24）、双方で今後の取組について情報提供し認識を共有するとともに、これまで調整会議などで図ってきた連携を、今後さらに森林保全を含む治山対策と砂防事業の間で強化することを確認

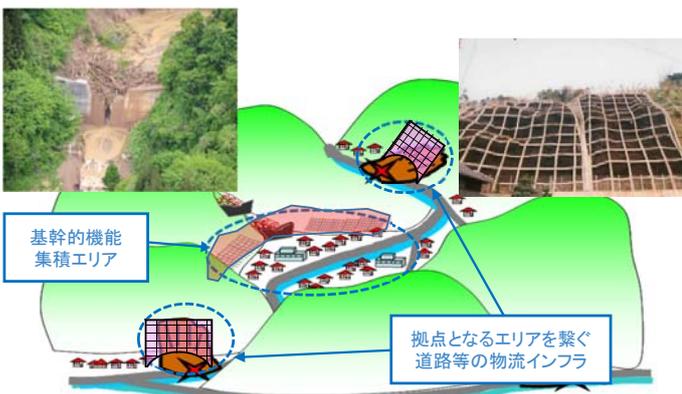
新規事項 いのちとくらしを守る土砂災害対策推進のための取組

まちづくり※と連動した対策の推進

※ 人家やインフラの集約

地域計画などにより居住や集落の基幹的機能（官公署、病院、学校などの基礎的インフラ）の集約を図ろうとする地域を保全する取組に対し補助する個別補助事業を創設し、まちづくりと連携した事業を計画的・重点的に推進

【対策イメージ】



基幹的機能を集約しようとするエリアを重点的に保全

住民の理解促進に資する土砂災害リスク情報整備の推進

土砂災害警戒区域等の現地表示（標識設置）やより分かりやすいハザードマップの作成など、住民の危機意識の高まりや避難行動の喚起に資する取組を支援するため、新たに交付金事業を創設し、避難の実効性向上を図る

【取組イメージ】



土砂災害警戒区域等の現地表示



住宅地図に区域指定範囲を明示した事例